

令和7年度 第2回海津市総合教育会議 議事概要

1 日時 令和8年2月24日(火) 午後3時30分～午後4時40分

2 場所 海津市役所 東館4階 災害対策本部室

3 出席者の氏名

市長 横川 真澄
教育長 服部 公彦
教育委員 曾根 理仁
教育委員 大津 由佳
教育委員 伊藤 嘉保
教育委員 宇野 恵里

4 説明等のために出席した者の氏名

総務企画部長	近藤 三喜夫
市民生活部長	奥村 孝司
健康福祉部長	安立 文浩
教育委員会事務局長	後藤 政樹
財政課長	小粥 政人
企画課長	山崎 賢二
文化・スポーツ課長	
兼木曾三川輪中ミュージアム館長兼図書館長	後藤 英仁
こども未来課長兼こども家庭センター長	中島 真
こども未来館長兼こども図書館長	山本 桂子
教育総務課長兼学校給食センター所長	徳永 宗哲
学校教育課長兼総合教育センター所長	森 崇
海津小学校校長	後藤 秀樹
健康福祉部高須認定こども園園長	山下 早苗
健康福祉部高須認定こども園保育教諭	田中 孝子
企画課課長補佐	岩田 三佳

5 傍聴者

なし

6 議題

・ 幼児教育の現状と今後の取組みについて

7 報告事項

(1) 市内小中学校におけるいじめと不登校の実態について

(2) 公立学校の教育職員に関する「業務量管理・健康確保措置実施計画」について

発言者	発言内容
企画課長	これより令和7年度第2回海津市総合教育会議を開会する。 開会にあたり、市長より挨拶申し上げる。
市長	<p>本日は、総合教育会議を開催したところ、委員の皆様には大変ご多用の中、ご参集いただき感謝申し上げます。また、日頃より、海津市の教育行政のみならず、市政各般にわたり、格別なるご理解ご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>前回の総合教育会議で申し上げたとおり、昨年9月に各中学校の2年生を対象に授業の1コマをいただき、「まちづくり未来創生トーク」と題し、私の思い描くまちづくりについて話をした。これを受け、10月以降に各中学校でまちづくりワークショップを開催した。</p> <p>生徒たちは、人口減少や空き家などの市の現状をしっかりと調べた上で、パワーポイントを用いてまちづくりに関する様々な提案をしてくれ、今後のまちづくりの大きなヒントとなるワークショップを開催することができた。どの発表も、人口減少という大きな課題に直面する本市において、その魅力を最大限に発信し、多くの人々が集まる賑わいのあるまちにしたいという強い願いが込められた提案だった。</p> <p>このワークショップは、私自身にとっても大きな活力となった。生徒たちの思いをしっかりとまちづくりに活かして取り組む決意を新たにしました。</p> <p>次に、来年度の主な新規事業について説明させていただく。</p> <p>まず、海津明誠高校の魅力化推進事業として、来年度、総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、専門家を招聘する予定である。同校の地域探究学習の充実を通じて、地域の活性化、学校の魅力化に繋がられるよう、市として本気で取り組んでいく。</p> <p>また、毎日の学校給食を写真に撮ってホームページやSNSで発信する取組みを来年度から開始する。本市は、他のどの市町にも負けない給食を提供している。その魅力を多くの人に知っていただきたい。</p> <p>本日の会議では、幼児教育を議題としている。その他、小中学校におけるいじめと不登校、教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画について報告させていただく。</p> <p>本市の教育が特色と魅力ある「子育て世代に選ばれる教育」となることを願い、皆様からの忌憚のないご意見をお願い申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。</p>
企画課長	議題 幼児教育の現状と今後の取組みについて、こども未来課長より説明する。
こども未来課長	<資料により説明>
大津委員	こども園や小学校低学年の教室に訪問すると、子どもの成長が全体的に緩やかになったことや保護者の考え方に変化が見られることがうかがえ

	<p>る。このような状況下において、読み書きや英語の習得といった早期教育ではなく、育てたい子どもの姿を念頭に置き、一人ひとりに寄り添った教育のもと、保護者とこども園が一緒に子どもを育てていくことが望ましい。</p> <p>そのため、本市の幼児教育をさらに深化させていただきたい。架け橋期の取組みには、小学校の代表の先生だけでなく、全員の先生に参加していただきたい。また、こども園の公立・私立間において、差が生じないようにしっかり連携していただきたい。</p>
こども未来課長	<p>幼児教育・保育研究会のメンバーについては、私立を含めた市内認定こども園の5歳児担当の保育教諭、代表2校の小学校1年生担当の先生となっている。今年度については、全小学校を対象に公開保育・授業の参加を呼びかけた。その他のメンバーとしては、岐阜大学の教授にアドバイザーとして参加いただいている。</p>
教育長	<p>ある市では、こども園から小学校へ進学後、不登校になってしまう児童が非常に多いという話を聞いた。こども園での子どもの良さを伸ばす指導から、小学校での「～しなさい」という指導になることにより、子どもたちがギャップを感じ、小学校1年生の不登校が増加しているという実態がある。</p> <p>こうした実態から、こども園の教育を小学校の指導に合わせるのではなく、小学校1年生においては、子どもの発達段階に応じた「～したい」を大事に育てていく教育をすべきではないかと考える。そのためには、小学校1年生を担当する先生が、こども園での教育内容などを理解する必要がある。今年度は、代表の小学校だけではなく、全小学校の1年生を担当する先生にこども園での公開保育に参加してもらった。今後も、小学校入学初期段階での丁寧な教育指導に取組み、子どもたちの良さを引き出す教育を推進していく所存である。</p> <p>さらには、年長児と小学校5年生との交流機会を設けることは、年長児が小学校入学時に安心感や期待感を抱くことに繋がり、5年生にとっては6年生進級時に学校のリーダーとしての自覚に繋がる。この交流機会のさらなる強化を研究会で検討していただきたい。</p>
大津委員	<p>こども園の公立と私立の壁はあるか。</p>
高須認定こども園保育教諭	<p>3年前から公立と私立の交流会を実施している。子どもの年齢別に先生が集まり、日頃の悩みなどについて意見交流を行っている。また、公立こども園での園内研究には、私立の先生にも参加を呼び掛けている。まずは先生同士の交流から始めているところである。</p>
海津小学校校長	<p>小学校5年生と年長児のつながりに関連して、海津小学校では、2月6日に学校説明会を開催し、年長児とその保護者が参加した。保護者が説明会に参加している間、5年生が年長児に学校探検や読み聞かせを行った。また、来年度の「1年生を迎える会」では、彼らが6年生として新1年生を迎える立場となる。この過程を通じて、5年生は、来年度に最上級生となる</p>

	自覚を持てるきっかけとなった。今後もこのつながりを強化していきたい。
教育長	<p>市内の全小学校でこの取組みを進めていきたい。</p> <p>資料1の右上の図のように、小学校1年生への教育はゼロからのスタートではなく、幼児教育からの延長と捉え、幼児教育を活かして小学校教育に接続していくイメージを全員のこども園及び小学校の先生に持ってもらいたい。各小学校長には、その実現に向け、リーダーシップを発揮してもらいたい。</p>
企画課長	報告事項(1) 市内小中学校におけるいじめと不登校の実態について、学校教育課長より説明する。
学校教育課長 兼教育総合センター所長	<資料により説明>
教育長	<p>いじめの認知件数については、軽微な事案から保護者への連絡を伴うものまで、詳細に報告されている。このような丁寧な取組みが、件数に反映されていると認識している。子どもたちのトラブルは、社会性を身につけるチャンスと捉え、学校が解決に至るまでの見届けを繰り返すことにより、子どもたちの成長につなげていきたいと考える。</p> <p>フレンドリールームについては、子どもたちが大江のフレンドリールームを定期的にご利用するようになった。大江では、家庭科の調理実習や音楽の楽器演奏などの多様な学びができ、その良さが少しずつ表れてきた。大江に加え、駒野と高須の3カ所に設置されていることが重要であると認識している。他市町ではこのような複数拠点の設置は見られない。桑名市でも1カ所のみでの設置であることから、大江の利用を提案した経緯がある。</p>
曾根委員	近年のいじめの傾向として、SNSによる誹謗中傷が挙げられる。これに関連し、一昨年開催された人権啓発推進大会では、スマイリーキクチ氏による講演が行われた。教育現場においても、人権教育として取り組んでいただきたい。
企画課長	報告事項(2) 公立学校の教育職員に関する「業務量管理・健康確保措置実施計画」について、学校教育課長より説明する。
学校教育課長 兼教育総合センター所長	<資料により説明>
大津委員	資料3の「学校と教師の業務の3分類」の中で、教師以外が積極的に参画すべき業務については、PTA組織が無くなってきた現状において、地域住民の協力をどのように得ていくかが課題である。
市長	教師以外が積極的に参画すべき業務の中には、市の負担で学校に配置している職員が担うべきものも含まれる。市としても、教職員の負担軽減を図るため、多くの予算を割いて配置しているということをご理解いただきたい。

<p>学校教育課長 兼教育総合セ ンター所長</p>	<p>本市は、他市と比較すると、学級支援員や相談員の配置が手厚く、不登校の抑制やいじめ認知件数の増加に繋がっている。先生方の働きやすい環境は非常に整備されていると感じる。海津を支える子どもたちを育てていくために、それぞれの立場で何を変えればいいのかをアイデアを出しながら検討していきたい。</p>
<p>企画課長</p>	<p>これにて本日の会議を終了する。</p>

閉会 午後4時40分